

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社福邦銀行（証券コード：－）

【クレジット・モニター指定】

長期発行体格付

BBB－ → #BBB－/ポジティブ

■格付事由

- (1) 当行と福井銀行は、本日、当行の公的資金の返済を前提に、第三者割当の方法により福井銀行が当行の普通株式を引き受ける基本合意を決議した。発行価額総額は50億円の予定で、当行が福井銀行の子会社となるか否かは現時点において未定である。
- (2) 当行は資金量0.4兆円の第二地方銀行、福井銀行は同2.6兆円の地方銀行で、ともに福井県を主要な営業基盤としている。20年3月に締結した包括提携「Fプロジェクト」の下、それぞれのブランドを維持しつつ、一つの金融グループを目指し、顧客サービスの向上や組織・業務改革など様々な施策を展開している。主要な経営インフラである店舗に関しては、各々の営業拠点の集約や共同拠点の新設などで連携し、サブシステムに関しても、福井銀行が利用するクラウド基盤の共同利用を進めている。今般の増資に伴う新たな金融グループの誕生は、事務の共同化なども含む業務運営における2行の結び付きをより強固なものにすると考えられる。JCRは、これらの業務・資本提携が当行の信用力にポジティブに働くとも見ており、当行の格付をクレジット・モニターに指定した。一方、本件による福井銀行の格付への影響は限定的とみている（本日付のニュースリリース「20-D-1100」参照）。
- (3) 福井銀行の総資産規模は当行の約7倍と大きいため、グループ全体の信用力には主として福井銀行の信用力が反映される。福井銀行について、資本水準はBBBレンジの地域銀行としては良好であり、基礎的な収益力も相応の水準を確保しているが、今後は、本店建替に伴う償却コストの発生などが収益を圧迫していくとみられる。JCRでは、第三者割当増資に向けた作業の進捗、グループの中核会社である福井銀行の業績、およびそれに伴うグループの信用力、グループ内における当行の位置付けなどを見極めた上で、新たな格付を付与する考えである。

（担当）木谷 道哉・古賀 一平

■格付対象

発行体：株式会社福邦銀行

【クレジット・モニター指定】

対象	格付
長期発行体格付	#BBB-/ポジティブ

【参考】

発行体：株式会社福井銀行

長期発行体格付：BBB+

見通し：安定的

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年1月14日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三
主任格付アナリスト：木谷 道哉
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2014年5月8日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2019年3月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社福邦銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCR に対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル